

## 令和5年度 文部科学大臣表彰（教育者表彰）被表彰者

所属・職名 氏名 年齢	主な役職歴	在職 年数	功績の内容
北海道 高等聾学校長  すみ かずよし 須見 千慶  (60歳)	全国特別支援学校長会 評議員  北海道特別支援学校長 会会長	特別支援学校 教諭 21.11 特別支援学校 教頭 7.00 特別支援学校 長 7.06  計 36.05	昭和62年以来、本道の特別支援教育に携わり、道内において現在も活用されている「手話研修プログラム」作成の中心的役割を担い、聾学校における手話を活用した指導の充実に貢献した。  管理職として、十勝管内の特別支援学校6校での連携研修を実施し、地域の特別支援教育の専門性の向上に寄与した。また、日常的にICTの活用を図り、道内各地に設置されている聾学校7校による遠隔での研修や授業を実施し、教員の専門性の向上や少人数化する幼児児童生徒の学び合いの充実に貢献した。  令和5年度から北海道特別支援学校長会会長及び全国特別支援学校長会評議員等を務め、道内の特別支援学校長の職能向上と教育の振興に大きく貢献している。
札幌市立 北園小学校長  もりた ともや 森田 智也  (60歳)	全国連合小学校長会 常任理事  北海道小学校長会 会長	小学校教諭 23.00 小学校主幹 教諭 1.00 小学校教頭 5.00 小学校長 6.06  計 35.06	昭和63年以来、本道の小学校教育に携わり、勤務校における数多くの授業公開をはじめ、札幌市教育課程編成の手引の執筆、教育委員会主催の研修講座、全国の研究大会での提言や助言等により、生活科及び総合的な学習の時間における教育の充実・発展に尽力した。  管理職として、子供たちに「生きる力」を育むための授業改善や校内研修の充実に重視するとともに、「主体的・対話的で深い学び」による授業改善の充実に努め、教員全体の授業力向上を図った。また、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、保護者や地域との連携・協働を重視した学校経営を推進した。  令和5年度から北海道小学校長会会長及び全国連合小学校長会常任理事として、道内の小学校長の職能向上と教育の振興に大きく貢献している。

※ 年齢及び在職年数は、令和5年（2023年）9月30日現在

所属・職名 氏名 年齢	主な役職歴	在職 年数	功績の内容
登別市立 緑陽中学校長  のざき ひとし 野崎 均  (59歳)	全日本中学校長会 副会長  北海道中学校長会 会長	中学校教諭 24.00 中学校教頭 5.00 教育委員会 参与 4.00 中学校長 4.06  計 37.06	<p>昭和61年以来、本道の中学校教育に携わり、国語科教諭として、生徒一人一人の力を育てる授業実践を積み重ねるとともに、学年主任、研修部長、生徒指導部長、教務主任として、長年にわたり学校運営の中心を担った。</p> <p>登別市教育委員会教育部参与として、学校運営協議会の活動の促進を図るとともに、いじめにおける重大事案対策委員会の常設や、各種方針・計画の作成に携わり、教育委員会における体制づくりに貢献した。</p> <p>管理職として、児童生徒の自尊感情の育成に係る自校の実践成果を管内小・中学校に広く発信するとともに、各研究大会において提言を行い、取組の重要性を啓発した。また、キャリア教育に関して、学校運営協議会と事業所とを連携させた職業体験の場を創出するなど、地域を支える人材の育成を推進した。</p> <p>令和4年度に北海道中学校長会会長及び全日本中学校長会副会長として、道内の中学校長の職能向上と教育の振興に大きく貢献した。</p>

※ 年齢及び在職年数は、令和5年（2023年）9月30日現在